

公共事業事前評価調書(平成 26年度予算要望)

所管課: 都市計画・モノレール課 担当班: モノレール建設現場事務所

事業名	浦添西原線及び浦西停車場線道路整備事業(アクセス道路)	事業区分	道路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	西原町幸地～浦添市前田地内				
事業の諸元	浦添西原線(現道) : 延長L=約0.30km、W=19m 浦西停車場線 : 延長L=約0.25km、W=19m				
事業の概要	沖縄21世紀ビジョン及び沖縄県総合交通体系基本計画に基づき、ハシゴ道路ネットワークの構築及びモノレールと高速道路の結節を図るために行うものである。				
事業の必要性・効果等	(必要性等) モノレール第4駅と高速道路を結節することにより、中北部地域を含めた定時性の高い公共交通ネットワークが形成され、自動車交通から、公共交通への転換を促進し、那覇都市圏の交通渋滞緩和に寄与する必要がある。また第4駅周辺には、浦添市を中心にまちづくり計画があることから、高速道路と駅とを結ぶ道路の整備が必要である。 (効果) インターチェンジと当該道路を設置することにより、高速道路利用の向上が図られ、一般道から高速道路への転換を促すことで交通渋滞緩和に寄与する。また、ハシゴ道路の構築に資することで、国道58号に集中する南北方向のアンバランスな交通需要の分散効果が期待される。更に、第4駅周辺のまちづくりにも当該道路はアクセス性の面で寄与するものである。				
事業期間	事業採択	平成 26年度	完了(予定)	平成 30年度	
全体事業費	10 (億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	当該道路は沖縄21世紀ビジョン基本計画で「人間優先のまちづくり」に位置づけられ、沖縄県総合交通体系基本計画においては「多様な利用目的に応じた道路網の整備」としてハシゴ道路ネットワークの構築が位置付けされている。また、「県土の近郊ある発展を支える利便性の高い陸上交通ネットワークの構築」において、モノレールと高速道路結節が位置付けされている。				
環境への配慮	極力、既存道路を活用し、改変面積を減らすことで、沿道環境に配慮した整備を行う。				
関係する地方公共団体等の意見	浦添市、浦添市議会及び浦添市民総決起大会実行委員会からのモノレール延長要請があり、延長については、終点駅における沖縄自動車道との交通結節を前提としている。				
概要図(位置図)					